

はき 3-74 糖尿病と関係のないのはどれか。

1. 遺伝的素因
2. **プリン代謝異常**
3. 多尿
4. タンパク尿

はき 4-77 糖尿病の合併症で適切でないのはどれか。

1. 網膜症
2. ニューロパチー
3. **くも状血管腫**
4. 腎障害

はき 5-86 内分泌疾患とその症状との組合せで誤っているのはどれか。

1. 糖尿病 — 多尿
2. 褐色細胞腫 — 高血圧
3. **バセドウ病 — 眼球陥凹**
4. 先端巨大症 — 舌の肥大

はき 7-71 糖尿病の合併症で誤っているのはどれか。

1. 網膜症
2. 末梢動脈閉塞
3. 末梢神経障害
4. **急性糸球体腎炎**

はき 8-74 呼吸とその原因との組合せで誤っているのはどれか。

1. **頻呼吸 — 脳圧亢進**
2. クスマウル大呼吸 — 糖尿病性アシドーシス
3. 起坐呼吸 — 心不全
4. チェーン・ストークス呼吸 — 尿毒症

はき 10-87 糖尿病の3大合併症でないのはどれか。

1. 網膜症
2. **心筋症**
3. 腎症
4. 末梢神経障害

はき 12-73 次の文で示す患者で最も考えられるのはどれか。

「35歳の男性。口渇、多飲、多尿（低比重尿）、水制限試験で尿量の減少はみられなかった。」

1. 糖尿病
2. 心因性多尿
3. 尿崩症
4. 原発性アルドステロン症

はき 12-81 手根管症候群の原因とならないのはどれか。

1. 妊 娠
2. 甲状腺機能亢進症
3. 関節リウマチ
4. 糖尿病

はき 14-72 代謝疾患について誤っている組み合わせはどれか。

1. 高尿酸血症 — 腎不全
2. 高コレステロール血症 — 急性膵炎
3. 糖尿病 — 起立性低血圧
4. 肥満症 — 睡眠時無呼吸症候群

はき 15-64 I型糖尿病の原因でないのはどれか。

1. ウイルス感染
2. 遺伝性素因
3. 妊 娠
4. 自己免疫異常

はき 16-82 糖尿病性網膜症について誤っている記述はどれか。

1. 失明の原因となる。
2. レーザーによる光凝固治療が行われる。
3. 硝子体出血をきたす。
4. 閃輝暗点がみられる。

はき 17-68 糖尿病患者に合併しやすいのはどれか。

1. 結膜出血
2. 甲状腺腫大
3. 下肢の知覚鈍麻
4. アキレス腱反射亢進

はき 17-77 「60歳の男性。糖尿病発症から15年経過、現在腎機能は正常。収縮期血圧は180mmHg、拡張期血圧は90mmHgである。」早期糖尿病性腎症を最も示唆するのはどれか。

1. クレアチニンクリアランス低下
2. 微量アルブミン尿
3. HbA1c高値
4. 血 尿

はき 17-78 「60歳の男性。糖尿病発症から15年経過、現在腎機能は正常。収縮期血圧は180mmHg、拡張期血圧は90mmHgである。」最近下肢の冷感が出現している。最も優先度の高いスクリーニング検査はどれか。

1. 心電図
2. 頸動脈超音波検査
3. 足背動脈拍動の確認
4. 両側アキレス腱反射

はき 19-74 糖尿病について正しい記述はどれか。

1. 2型糖尿病は若年者に多い。
2. 乏尿がみられる。
3. グリコアルブミンは過去1~2か月の血糖値を反映する。
4. 1型糖尿病患者にはインスリン療法を行う。

はき 21-62 慢性膵炎で正しい記述はどれか。

1. 胆石によるものが多い。
2. 便秘が多い。
3. 腹部超音波検査で石灰化像がみられる。
4. 病初期より糖尿病が発症する。

はき 22-64 肺結核について正しいのはどれか。

1. 接触感染の頻度が高い。
2. 一次結核症の頻度が高い。
3. クオオンティフェロン法は診断に用いられる。
4. 糖尿病合併患者では再発率が低い。

はき 25-62 歯周病の増悪因子でないのはどれか

1. 喫煙
2. 舌炎
3. 妊娠
4. 糖尿病

はき 25-67 2型糖尿病について正しいのはどれか

1. 若年者に多い。
2. 肥満者に多い。
3. インスリン療法が必須である。
4. 1型糖尿病より罹患者数が少ない。

はき 26-59 骨密度が保たれていても骨折を起こしやすいのはどれか。

1. 糖尿病
2. 高血圧症
3. 脂質異常症
4. 高尿酸血症

はき 26-63 脂肪肝に関係ないのはどれか。

1. 肥 満
2. 糖尿病
3. 肝硬変
4. 胆嚢ポリープ

はき 27-57 骨粗鬆症における骨折危険因子でないのはどれか。

1. 運 動
2. 喫 煙
3. 糖尿病
4. 副腎皮質ステロイド薬

臨床医学各論 代謝・栄養疾患 キーワード：高脂血症	
---------------------------	--

はき 6-80 虚血性心疾患の危険因子（リスク要因）はどれか。

1. タンパク尿
2. 不整脈
3. 高尿酸血症
4. 高脂血症

はき 7-70 高脂血症で増加しないのはどれか。

1. プリン体
2. LDL
3. トリグリセリド
4. コレステロール

はき 13-81 ネフローゼ症候群の特徴でないのはどれか。

1. 全身浮腫
2. ミオグロビン尿症
3. 低蛋白血症
4. 高脂血症

はき 16-76 全身性エリテマトーデスで誤っている記述はどれか。

1. 高脂血症を合併する。
2. 20～40 歳代の女性に好発する。
3. 関節痛がみられる。
4. 蝶形紅斑が特徴的である。

はき 5-83 肥満をきたす内分泌疾患はどれか。

1. バセドウ病
2. **クッシング症候群**
3. アジソン病
4. シーハン症候群

はき 13-73 15歳の肥満男子。軽微な外傷後跛行を主訴として来院した。最も考えられるのはどれか。

1. ペルテス病
2. 変形性股関節症
3. 結核性股関節炎
4. **大腿骨頭すべり症**

はき 14-72 代謝疾患について誤っている組み合わせはどれか。

1. 高尿酸血症 — 腎不全
2. **高コレステロール血症 — 急性膵炎**
3. 糖尿病 — 起立性低血圧
4. 肥満症 — 睡眠時無呼吸症候群

はき 16-65 原発性自然気胸について誤っているのはどれか。

1. 若年者に多い。
2. **肥満者に多い。**
3. 喫煙者に多い。
4. 再発率が高い。

はき 21-72 気胸について正しい記述はどれか。

1. 突然嘔声が出現する。
2. 肥満は危険因子である。
3. 自然気胸は成人女性に多い。
4. **緊張性気胸は緊急処置が必要となる。**

はき 23-71 自然気胸について正しいのはどれか。

1. 女性に多い。
2. 肥満者が多い。
3. **胸痛をきたすことが多い。**
4. 緊張性気胸となることはない。

はき 25-67 2型糖尿病について正しいのはどれか

1. 若年者に多い。
2. **肥満者に多い。**
3. インスリン療法が必須である。
4. 1型糖尿病より罹患者数が少ない。

はき 26-63 脂肪肝に関係ないのはどれか。

1. 肥満
2. 糖尿病
3. 肝硬変
4. 胆嚢ポリープ

はき 28-65 続発性脂質異常症の診断に有用でないのはどれか。

1. 肥満度
2. 血尿の有無
3. HbA1c
4. 甲状腺ホルモン値

臨床医学各論 代謝・栄養疾患 キーワード：るいそう

はき 18-73 クッシング病でみられやすいのはどれか。

1. 月経異常
2. るいそう
3. 低血圧
4. 恥毛脱落

臨床医学各論 代謝・栄養疾患 キーワード：高尿酸血症

はき 3-77 疾患と原因との組合せで誤っているのはどれか。

1. 成人T細胞白血病 — ウイルス
2. 血友病 — 血小板減少
3. 粘液水腫 — 甲状腺機能低下
4. 痛風 — 高尿酸血症

はき 6-80 虚血性心疾患の危険因子（リスク要因）はどれか。

1. タンパク尿
2. 不整脈
3. 高尿酸血症
4. 高脂血症

はき 14-72 代謝疾患について誤っている組み合わせはどれか。

1. 高尿酸血症 — 腎不全
2. 高コレステロール血症 — 急性膵炎
3. 糖尿病 — 起立性低血圧
4. 肥満症 — 睡眠時無呼吸症候群

はき 24-69 高尿酸血症について正しいのはどれか。

1. ヒスタミンと関連がある。
2. 尿管結石の原因となる。
3. 痛風発作の初発部位は手の指節間関節である。
4. 自己免疫疾患である。

はき 26-59 骨密度が保たれていても骨折を起こしやすいのはどれか。

1. 糖尿病
2. 高血圧症
3. 脂質異常症
4. 高尿酸血症

はき 27-64 続発性高尿酸血症の原因とならないのはどれか。

1. 白血病
2. 腎不全
3. 狭心症
4. 多発性骨髄腫

臨床医学各論 代謝・栄養疾患 キーワード：ビタミン欠乏症・過剰症	
----------------------------------	--

はき 1-72 正しい組合せはどれか。

1. 流行性耳下腺炎 — ムンプスウイルス感染
2. 消化性潰瘍 — 大腸菌感染
3. 虫垂炎 — ビタミンC欠乏
4. イレウス — アレルギー

はき 1-85 血液疾患について誤っているのはどれか。

1. 鉄欠乏性貧血はヘモグロビン産生量の減少により生じる。
2. 悪性貧血はビタミンB12の欠乏により生じる。
3. 急性白血病では白血球が急激に無制限に増殖する。
4. 血友病では第Ⅷ凝固因子が欠乏している。

はき 8-77 貧血について誤っている組合せはどれか。

1. 鉄欠乏性貧血 — 大球性正色素性赤血球
2. 悪性貧血 — ビタミンB12欠乏
3. 再生不良性貧血 — 汎血球減少
4. 溶血性貧血 — 黄疸

はき 12-75 ビタミン欠乏で膝蓋腱反射減弱をきたすのはどれか。

1. ビタミンA
2. ビタミンB1
3. ビタミンC
4. ビタミンE

はき 15-80 「25歳の男性。1年前から飲酒量が増加し、食事回数は減少した。1か月前から下腿浮腫、息切れ、膝蓋腱反射の消失がみられ、今朝から意識消失もみられるようになった。」原因と考えられるのはどれか。

1. ビタミン B₁ 欠乏
2. ニコチン酸欠乏
3. ウイルス感染
4. 脳腫瘍

はき 17-73 鉄欠乏性貧血について適切でない記述はどれか。

1. 息切れ・動悸の訴えがある。
2. 妊娠時に起こりやすい。
3. ビタミン剤の投与が有効である。
4. 血清フェリチン値は減少する。

はき 19-72 ベーチェット病について正しい記述はどれか。

1. 高齢者に多い。
2. 病的骨折がみられる。
3. ブドウ膜炎がみられる。
4. ビタミン B₁₂ の不足が原因である。

はき 20-71 疾患と検査結果との組合せで適切なものはどれか。

1. 関節リウマチ — CRP 値上昇
2. 悪性リンパ腫 — フィラデルフィア染色体陽性
3. 全身性硬化症 — HLA-B51 陽性
4. 悪性貧血 — ビタミン B6 欠乏

はき 20-75 ビタミン B₂ 欠乏による症状はどれか。

1. 皮膚炎
2. 精神障害
3. 神経炎
4. 貧血

はき 22-80 「58歳の女性。数年前から左手の第4指の近位指節間関節の腫脹に気がついた。特に疼痛はなかったが、今年になって右手の第4指近位指節間関節の腫脹もみられるようになった。」

本患者の治療で有効なのはどれか。

1. 非ステロイド系抗炎症薬
2. カルシトニン
3. ビタミン D 製剤
4. ビタミン B₆

はき 23-57 口腔内所見と疾患の組合せで正しいのはどれか。

1. う 歯 ————— 悪性貧血
2. アフタ性口内炎 ————— 潰瘍性大腸炎
3. 舌 炎 ————— くる病
4. 口角炎 ————— ビタミンA 欠乏症

はき 23-61 骨疾患と病態の組合せで正しいのはどれか。

1. くる病 ————— ビタミンC 欠乏
2. 骨軟化症 ————— 類骨の増加
3. 骨粗鬆症 ————— 骨量の増加
4. 多発性骨髄腫 ————— 骨硬化

はき 24-56 悪性貧血について正しいのはどれか。

1. 伴性劣性遺伝である。
2. 抗内因子抗体が陽性となる。
3. 正球性貧血を呈する。
4. ビタミン B1 投与が有効である。

はき 25-68 ビタミンB₁₂欠乏による疾患はどれか

1. 骨軟化症
2. ウェルニッケ脳症
3. 巨赤芽球性貧血
4. 脂漏性皮炎

臨床医学各論 代謝・栄養疾患 キーワード：骨軟化症（くる病）

はき 22-74 骨疾患と好発時期との組合せで正しいのはどれか。

1. くる病 ————— 小児期
2. 骨肉腫 ————— 老年期
3. 転移性骨腫瘍 ——— 青年期
4. 骨粗鬆症 ————— 思春期

はき 23-57 口腔内所見と疾患の組合せで正しいのはどれか。

1. う 歯 ————— 悪性貧血
2. アフタ性口内炎 ————— 潰瘍性大腸炎
3. 舌 炎 ————— くる病
4. 口角炎 ————— ビタミンA 欠乏症

はき 23-61 骨疾患と病態の組合せで正しいのはどれか。

1. くる病 ————— ビタミンC 欠乏
2. 骨軟化症 ————— 類骨の増加
3. 骨粗鬆症 ————— 骨量の増加
4. 多発性骨髄腫 ————— 骨硬化

はき 25-68 ビタミンB₁₂欠乏による疾患はどれか

1. 骨軟化症
2. ウェルニッケ脳症
3. 巨赤芽球性貧血
4. 脂漏性皮炎